

日本共産党 西宮市会議員団ニュース

(発行)

日本共産党西宮市会議員団 (2014. 9. 7 NO. 631)
西宮市六湛寺町10-3 (市役所内) TEL-0798-35-3368
FAX-22-7815 Eメール・nmc30547@nishi.or.jp
ホームページ <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

西宮市長に2015年度予算への 要望書を提出



8月28日午前、日本共産党西宮市会議員団と日本共産党西宮芦屋地区委員会の連名による

2015年度西宮市予算に対する「要望書」(全423項目)を、西宮市長に提出しました。

8月初旬には市民の皆さんとの声を聞く場も設け、市議団でも討議を重ねて作り上げた「要望書」で、切実な市民の願いがつまつたものです。

冒頭、庄本建次日本共産党西宮芦屋地区委員長が挨拶

2013年度の決算は 44億7500万円の黒字

このほど西宮市の2013年度決算が明らかになり、一般会計では収支差引44億7500万円と、過去最高の黒字に。特徴は、株式の売却益にかかる優遇税率(10%)が1月から20%に戻ったため「その前に」と、資産家が株を売却したことによる譲渡所得増で、一気に市への交付金が8億円も増えたことなどがあります。

ため込んだ基金等は 250億円超にも！



2014年3月時点での財政基金と減債基金合計は214億8000万円でしたが、この間の取り崩しがないうえ、決算による44億円余の黒字を含めると、何と基金等資金余裕は250億円超えにも。

今後は、団塊の世代の大量退職終了での人件費減や公債費(借金)残高も減少するなど、市の財政状況は長期安定の見通しです。

消費税増税や社会保障の改悪が続く中、市民のくらしは大変。こんな時だからこそ、基金のため込みではなく、国民健康保険料や保育料の引き下げ、子どもの医療費無料化の所得制限撤廃など、市のゆたかな財源を市民のくらし支援にしっかりまわすべきです。

し、「安倍の暴走政治にはきっぱりと市民のくらしを守る立場からいうべきことは言ってもらいたい」と強調。市長からも「どんな国の政治であろうとも、住民の福祉を増進しなければならない」と挨拶がありました。

杉山団長から要望書の特徴を説明し、野口議員らからも介護保険改悪による「総合事業での市独自のサービス強化」や子ども子育て新制度移行に際しては「国の施行令よりも上乗せで充実を」など、2015年度予算にしっかりと反映させるよう要請しました。なお、すべての項目にわたり、来年2月初旬には文書回答されます。

いま、市議団で実施している「市民アンケート」は、925通(9月2日現在)も返送されてきました。その中には、日本共産党への期待の声とともに、具体的な場所も書き入れての要望事項がぎっしり。早速、市長への「要望書」に反映させていただきました。

防災訓練に米軍参加 必要なし！

兵庫県と阪神7市1町の合同防災訓練が、8月31日芦屋市潮芦屋で実施。これには井戸知事が米軍に参加要請を行い、当日は米軍ヘリ・ブラックホークが飛来しました。米軍は、世界の紛争に武力介入することが任務であり、災害発生時にはあてにならないなど防災訓練に最も適しません。30日は抗議集会とデモ、31日は現地での抗議行動があり、市議団からも参加し「防災訓練を軍事訓練にするな！」と怒りの声をあげました。



参った芦屋市議会に参加しました。(3350人開催され) 30日